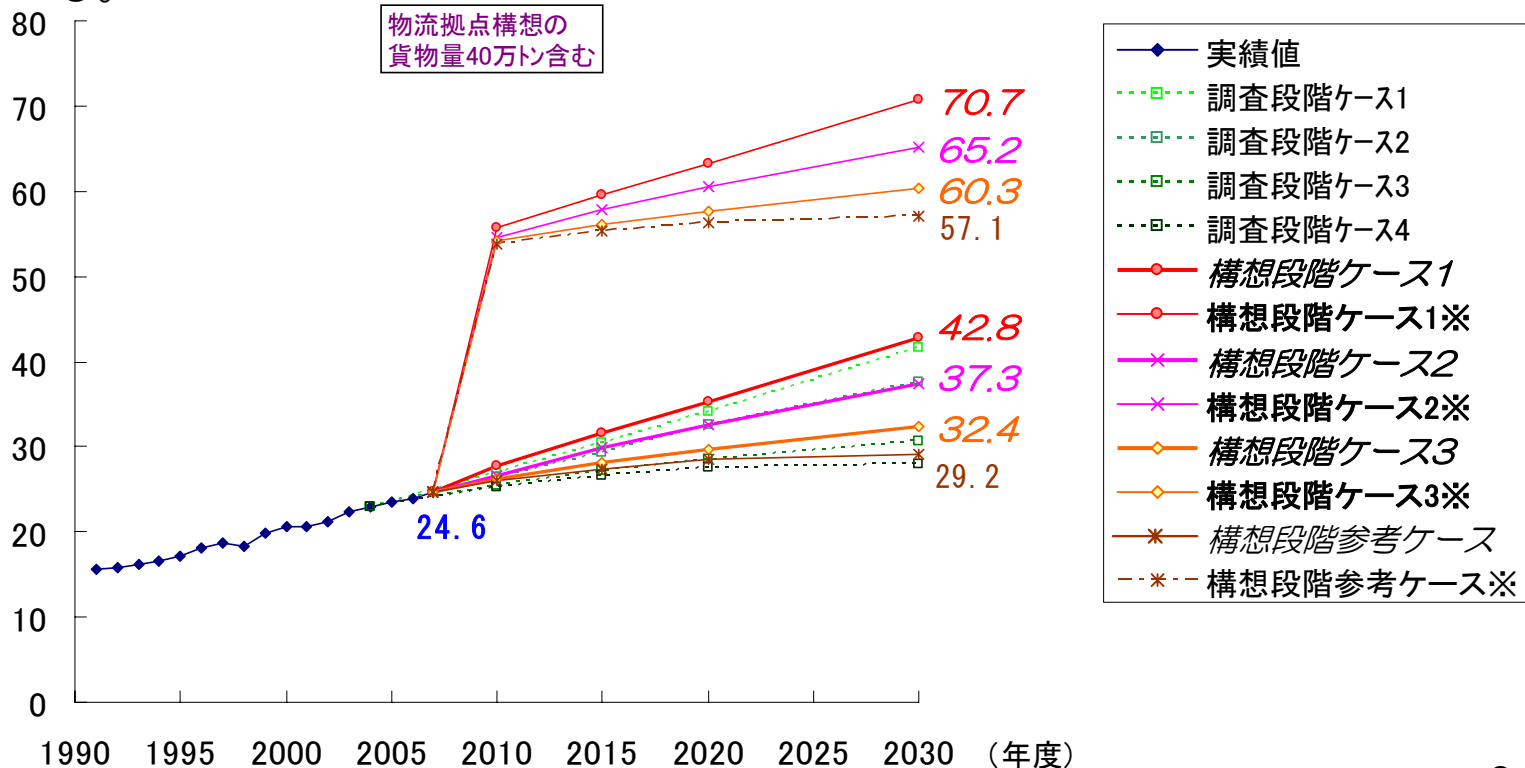


# 4. 航空需要予測結果(②航空貨物量)

- ・国内線、国際線を合わせた航空貨物量は2007年度では年間24.6万トン。
- ・需要予測の結果、2015年度には約28.2～31.8万トン、2020年度では29.8～35.4万トン、2030年度では32.5～43.1万トンとなると予測。
- ・更に、ANAの物流拠点構想に伴う計画貨物量(40万トン)を考慮すると、2015年度には56.1～59.7万トン、2020年度では57.8～63.4万トン、2030年度では60.4～71.1万トン。
- ・伸び率は、調査段階では、2004年度→2030年度が0.8～2.3% (ケース1～4) であるのに対し、構想段階では、国際物流構想を反映したこともあり2007年度→2030年度が4.1～4.8% (ケース1～3) と

大幅増となっている。  
(万トン/年(積卸計))



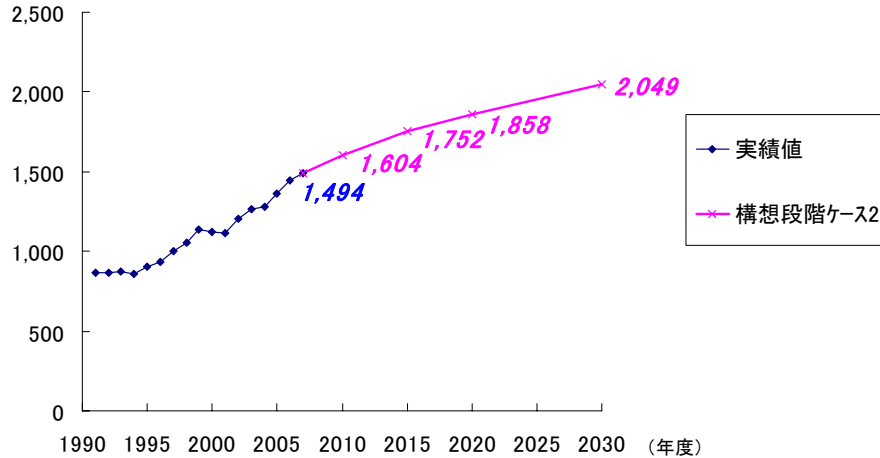
注) 「※」はANA物流拠点構想による追加的な貨物量を加算した値である。

# 6. 基本ケースの設定について

※基本ケース(構想段階ケース2)需要予測結果

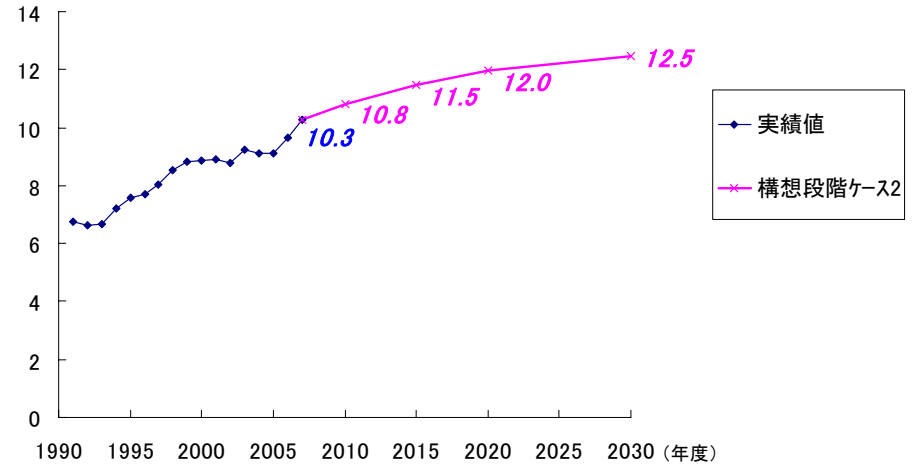
## ●航空旅客数

(万人/年(両方向))



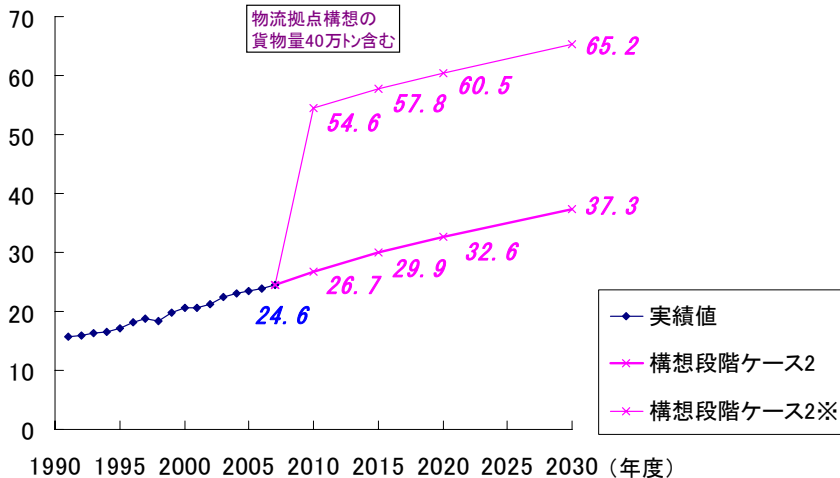
## ●発着回数

(万回/年(両方向))



## ●航空貨物量

(万トン/年(積卸計))



## ●日平均発着回数

(回/日(両方向))

